

第2回 名古屋港長期構想検討委員会

議 事 要 旨

1 日時 令和7年4月25日（金） 13：30～15：30

2 場所 名古屋港湾会館 第1会議室（WEB併用）

3 議題

- ・第1回検討委員会の意見と対応
- ・名古屋港長期構想の骨子（案）

4 主な議事

- ・事務局から、資料1「第1回検討委員会の意見と対応」を説明し、その内容が確認された。
- ・事務局から、資料2「名古屋港長期構想の骨子（案）」を説明し、委員から意見を頂いた。

5 委員からの主な意見

（基本理念）

- ・基本理念は名古屋港のイメージと合致しており、強みである物流機能を強く押し出していくことは重要である。
- ・日本の中央に位置している名古屋が、日本の発展をリードするという姿勢は共感できる。
- ・物流そのものの質を向上することが、新しい産業の創出や人の交流にもつながると分かるように書いてはどうか。

（物流）

- ・将来像に書かれている「首都圏・近畿圏の機能を代替・補完できる基幹物流の要衝」を実現するには、輸入の機能を強化する意味合いが含まれなければならない。
- ・いかに、ものづくり中心の後背地と港が上手く繋がるかが重要であり、一宮西港道路の実現で、西部地区が後背地と強く繋がり、さらに道路ネットワークが広がることで、ポートアイランドへの物流機能の拡張もあるかと思う。
- ・「世界の成長するエリアと常に繋がっている」について、世界経済は大きく変動する可能性があるため、フレキシブルに対応できるということも入ると良い。

- ・名古屋港を使いたい、応援したいと思ってもらうためには、魅力的な港であることが大事であり、そのためには、世の中の状況に応じて臨機応変に対応できることも重要である。

(まちづくりとの連携)

- ・都心で準備し得ない空間として、アーバンリゾート空間を港湾で形成するということを書くと、「みなととまちの繋がりを意識した魅力ある港湾空間」がイメージしやすい。
- ・今後の名古屋駅から中川運河に隣接するささしまライブへのアクセス展開などを含めて、名古屋港がどのように関わっていけるのかを書くことも必要ではないか。
- ・みなと緑地PPP（官民連携により、みなとのにぎわい空間を創出するための制度）を活用しながら、より人が集まるような施策を展開して欲しい。
- ・にぎわい拠点において、夜もにぎわう空間づくりを考えて頂けると良い。
- ・金城ふ頭のクルーズ船受け入れ態勢の強化として、ターミナルの整備を検討して欲しい。
- ・観光について触れられているが、もう少し主体的に、観光拠点を形成していくとしてはどうか。
- ・堀川の河口付近は臨港地区でもあるため、施策展開するエリアに含めても良いのではないか。

(防災)

- ・南海トラフ巨大地震のリスクを意識せざるを得ないなかで、日本一の物流拠点をうたうのであれば、防災に関連した方向性の表現を強くすることができないか。
- ・名古屋港が地震、津波や高潮対策に取り組み、脆弱性を低くしており、リスクが少ないことを港湾立地企業と一緒にアピールしていくことも大事ではないか。
- ・災害時に航路啓開などで必要となる作業船等を係留する場所の確保についても書けないか。
- ・フェリーやRORO船の係留施設は、港湾計画において耐震強化岸壁で位置付けられるため、生産性の向上だけでなく、大規模地震対策への備えという観点でも追加すると良い。

(次世代エネルギー)

- ・脱炭素化に向けて、水素をいかに供給するのが課題となっているなかで、ポートアイランドを次世代エネルギー拠点とすることは、地域の企業も大きな期待を

している。

- ・次世代エネルギーの拠点形成について、長期構想の時間軸と需要家が求める時間軸が合っているのかが気になるので、今後、具体的に議論させて頂きたい。

(ポートアイランド)

- ・ポートアイランドは、何らかの方向性を決めて、一步でも前に進めていくことが大切である。
- ・ポートアイランドの空間利用については概ね賛成である。
- ・ポートアイランドの利活用が図られる際には、内港地区の再編やそれにより生じるスペースの活用の視点も入れて頂きたい。
- ・ポートアイランドは中部国際空港と海底パイプラインで接続し、持続可能な航空機燃料（S A F）を提供する拠点としても使えるかと思う。

(港湾経営)

- ・港湾経営の視点が入っているのが特徴であり、大変良いと思う。
- ・経営の視点で大事なことは収入を上げることなので、入港船舶の増加につながる機能強化を進める趣旨の記載を検討して欲しい。
- ・名古屋港による関係地域への経済効果・税収効果を強く打ち出し、名古屋港への投資原資の拡充を図ることを検討してほしい。
- ・ハード整備には、経営の視点から投資回収を考える必要があり、利用者や貨物を増やすことと合わせて、それをサポートする仕組みや制度などのソフト面も考えていけるとより現実味が増すのではないかな。

(伊勢湾の連携)

- ・伊勢湾の連携は、特別な意味があると思うので、意見交換しながら新しい取組や連携を推進、促進していくような一歩踏み込んだ記述が良い。

(実現性)

- ・実現に向けての迅速かつ柔軟な対応について、組織、体制などを将来に向けてアップデートしていく検討も必要ではないかな。
- ・協働防護に限らず、国の制度等を名古屋港の様々な施策にうまく活かせると良い。
- ・計画の実現に向けて、道路は大変重要なインフラであり、道路の関係者から助言や協力を頂けると良い。